二、事業主側

名称　橋本鋳造所第二工場
経営者　橋本光治
資本金　二万円
事業　諸機械用鋳物製造
企業系統
使用労働者　男十二名　女一名　計十三名

三、労働者側

争議参加者　男八名
労働組合関係　ナシ

四、争議発生ノ時　昭和四年十二月十四日

五、発生ノ原因

本工場ハ営業状態良好ニシテ常備日給ヲ受ケル者ハ最低二円三十銭最高三円三十銭、請負制度ノ者ハ三円位ノ収入アリタルガ最近注文減少シタルタメ残業ヲ為スモ尚其ノ収入ハ常備給ト大差無キ額ナルニ至リシヲ以テ一般ニ常備制ニセラレタキ希望ヲ有スルニ至リタルニ職工中ノ金沢一馬（客年三月十五日治安維持法違反被告人中部特要）ノ首唱ニテ要求ヲ提出スルニ至リタリ

六、要求事項並交渉状況

十四日午前九時金沢一馬、前川次郎吉、其外八十ノ三名ハ職工ヲ代表シ工場主ニ会見口頭ニテ
一、請負制度ヲ常備ニ直シ儲カリソウナ仕事ハ請負制度ニ依ルコト
二、製品二万貫ストックアル迄馘首セザルコト
工場主ハ考慮ノ上夕刻回答スル旨答ヘタルニ代表者ハ引取ルト共ニ怠業シタルカ工場主ハ夕刻嘆願ヲ拒絶セリ
次テ翌十五日再ヒ口頭ニテ嘆願シタルモ拒絶セラレタルヲ以テ翌十四日参加者八名ハ罷業シ全日夜別記（一）ノ如キ要求ヲ為シタリ

七、解決

本争議ヲ探知セル蒲田警察署ハ労資双方ヲ招致シ解決ニ関シ諭示シタルニ双方之ヲ諒トシ別記（二）ノ通協定解決シタリ

右及申（通）報候也